

「デジタル・アーカイブ速報」No.40

岐阜女子大学 文化創造学部

〒501-2592 岐阜市太郎丸 80

フリーダイヤル 0120-661184

URL <http://www.gijodai.ac.jp/>

岐阜女子大学大学院 文化創造学研究所(事務局)

〒500-8813 岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4F

TEL 058-212-3257 FAX 058-212-3258

URL <http://www.gijodai.jp/graduate/>

文化活動の伝承と利用を支援するデジタル・アーカイブ

～体験で伝える、文化の感性を理解～

1. 創作活動を通じての文化の伝承

デジタル・アーカイブは文化の伝承と並行して、現在または次世代にどのように伝わるかが大きな課題です。とくに、文書による伝承に加え、文化活動を伝えるには新しいデジタル・アーカイブとしての構成が課題です。

(1) 素材、作り方と文化

そこで今回、文化活動として折紙を用いた例として、どのように文化の伝承と新しい文化創造への発展に必要なデジタル・アーカイブを構成すればよいか、検討しました。

A：文化の背景の理解

各伝統文化には、多様な背景があり、それを理解できる情報が必要です。

たとえば、「つる」に対しては、次のような観点を基礎として、何を伝えるか考えるべきです。

- ・作品の文化的背景
- ・文化活動（創作活動）の文化的背景
- ・作品等の社会・生活文化としての背景

B：創作活動の伝統文化…作り方を考える

地域のもつ伝統文化とその背景、人々の「もの」作り、更に「もの」に対する思いについての情報の提供が必要だと思えます。（たとえば、「つる」などは一人ひとりが願いを込めて作ることに価値を認めている文化があります。）

C：素材 伝統文化…模様等

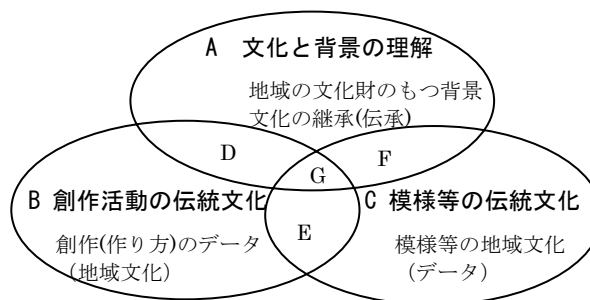
各地域がもつ地域文化としての模様には、それぞれの地域、各国の人々が持つ感性さらに民族性などを背景とした「思い」があり、これを情報として提供する必要があります。

(2) 創作活動と文化

D：「制作体験」による「思いの文化の伝承」

「もの」を作り、完成させる、そのプロセスにも思いがあります。たとえば、千羽「つる」では、多く人が同じ願いを持ち、「つる」を作り、その思いが一致しています。

この共同作業の思いを受けて、人々は共感、勇気、努力等の感性を高める一つの文化を持っています。



E：紙の色、模様等の選択(創作活動のための)

創作活動と素材の相互の関係にも、それぞれの「もの」に対する特有の文化があります。「鶴」の場合は利用する目的に適した色が使われています。

F：作品と素材の文化 模様等の利用

作品のもつ文化的なイメージに適した素材(模様など)の選択がされます。

たとえば、「このような作品には、この模様がよい」など作品と模様の関係を考え折紙を選択します。模様・色には、地域の人々がもつイメージ、文化があり、たとえば、千羽「つる」では暗い色はあまり使いません。

G：作品のもつ文化的背景…心情を伝える

作品には、それぞれ文化的な背景をもっています。たとえば、「千羽鶴」では一般に平和への希望、健康、優勝など良い方向性をもった願いを伝えます。

事例：広島市の平和公園の「千羽鶴」

病院等の見舞いの「千羽鶴」

高校野球等での「千羽鶴」

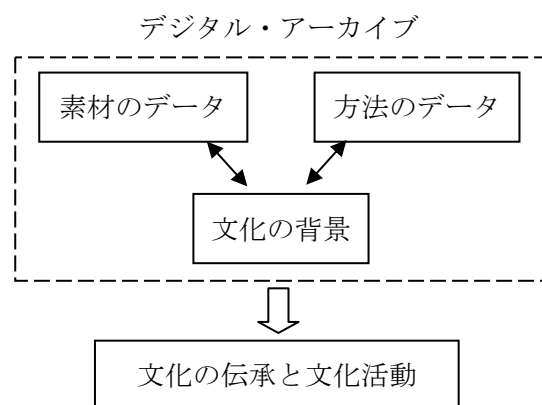
「鶴」のイメージは、希望をもった良い方向への思いがあり、さらに、「鶴は千年、亀は万年」と言うように、一般に長寿、おめでたい感性があります。

伝統文化がもつ、それぞれの文化とその背景の情報は、それぞれの特有の文化情報を他の国の人々に伝えるデジタル・アーカイブとして、また、次の世代にも文化情報を伝える有効な情報として役立ちます。

このような創作活動による伝承を配慮したデジタル・アーカイブの構成についても、さらなる研究が必要です。

(3) デジタル・アーカイブの構成

文化的活動(もの作りなどの創作活動等)には、活動方法(作り方)、素材(作業に必要な資料)のデータと文化的背景(素材・方法が持つ)の情報・プレゼンが文化の伝承として重要であることを説明しました。



文化の伝承には、文化活動(体験)を通して、より他の地域の文化の背景が理解できます。このためには、逆に文化の伝承にも、デジタル・アーカイブに、これらを配慮した構成の研究が今後必要です。すなわち、無形・有形文化財に対し、いかに、その文化の背景となる情報を事実とともに伝えるかが課題です。

その例として、創作活動をとまなう文化活動により、より深みのある文化の伝承と

しての方法として、素材(模様)、方法(作り方)、文化の背景の三視点からのデジタル・アーカイブの構成が重要です。

2. 折紙のデジタル・アーカイブ例と文化 素材、作り方と文化理解のデータ

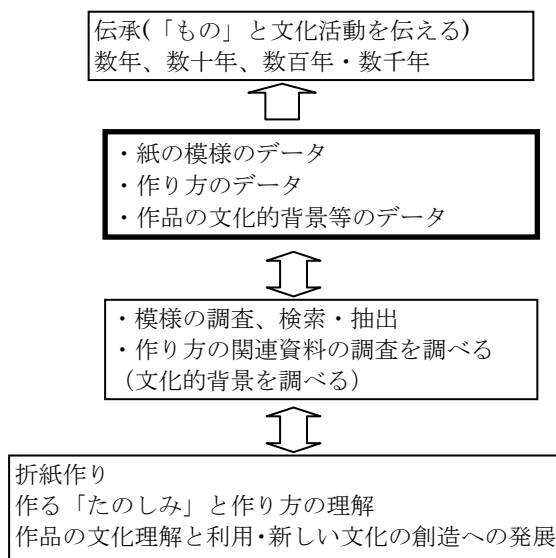
(1) 資料(素材データ)の構成


折紙のデジタル・アーカイブの構成としては、次に示すように「紙の模様」と「作り方」

の二つの分野とそれに関連する「歴史・文化・社会の背景」をデータ化する必要があります。これらのデジタル・アーカイブは、数十年、数千年の伝承への利用と新しい創作活動等への利用があります。その中で、とくに「もの」作りを通じての文化の理解の支援が重要です。

(2) 素材の保存

国、地域にはそれぞれの持つ特有の模様や絵などがあります。とくに、模様は古い歴史と文化があり、地域の相互関係の理解や感性について認識し、そこから、新しい文化伝承が始まります。



◆日本の伝統文様	
獅子	
	古代ペルシャでは太陽や王の力を象徴するものだった。日本へは唐代の中国から聖獣として伝わり、その後も「唐獅子」として親しまれた。
獅子牡丹文	
(岩崎巖監修 日本の伝統文様と伝統色より)	

これらの具体的事例については、別に報告します。

千羽「つる」の折紙の色は、一般に明るい色が用いられます。白・黄・赤・青…などで、黒色や暗い色はあまり用いられません。

◆沖縄の模様	
紅型 (びんがた)	
	紅型は日本を代表する型染の一つ。 琉球王朝時代、王家・王族・士族にしか着用が認められていなかった。
ミンサー織	
	ミンは中国語で「綿」、サーは「狭」であると言われ、木綿の細帯と一般的に解釈されている。 五つと四つの緋の意味は「いつの(五つ)世(四)までも末永く」といわれている。





(3) 作り方

折紙の作り方には、それぞれ生活、歴史、文化の背景があります。とくに、その地域の人々の思いがあり、時には、生活文化の中に深く根ざしている場合もあります。例えば、折紙「つる」にしても、その利用は、特別な思いがあります。(千羽「つる」などはその代表的なものです。)

作り方のテキストと映像の説明

折紙作りの手順・方法はテキストと映像による説明でデジタル・アーカイブを構成します。

作り方のデジタル・アーカイブ

作成の動画	説明	「コマ」「つる」の例	
	各画像に対し、具体的な図形を用いた説明とオーラルによる説明		作品についての評価 どのようにすればよく動くか、また、いろいろな色を用いるとよい。
上からの様子の撮影		折紙のコマの完成	
	プリントと映像で説明し、折紙のプロセスに沿って、実際に作成する。		糸を用いて多くの折紙の「つる」をつなぐこともある。
横からの様子の撮影		折紙の「つる」	

(4) 作品の文化的背景のデータベース

～「もの」、作品のもつ思い、感性～

「千羽鶴」と人々の思いについて、広島の場合を示します。

「折り鶴データベース」に登録
平和を願う皆様のお気持ちを大切にすため、捧げられた折り鶴のうち、データベース登録用紙にご記入いただいたものは広島市において「折り鶴データベース」として登録している。後世に残していく。

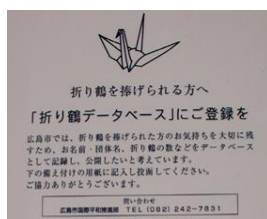


(折り鶴)



広島平和記念公園

雨の日に折り鶴を捧げるブース



国・都道府県	メッセージ (例)
U.K	We all pray for a future of peace and international friendship and understanding.
岐阜県	世界中が平和になるように！！
新潟県	平和への祈りを込めて！
China	To all those who wish for world peace, may it become true one day soon.
沖縄県	ずっと平和でありますように (全世界が)。
東京都	核兵器のない世界を。テロも戦争もない世界の実現を。
U.S.A	We folded these cranes with our wishes. "Our wishes=Peace."
Spain	We wish that twice event never be occurred again. We wish peace in the world.

(広島市/折り鶴データベースより) ※個人名、団体名等は略

メッセージのような後世に人々の願いを伝える新しいデジタル・アーカイブの検討も必要です。

～作る作業を通しての理解と感性を伝える～

デジタル・アーカイブは、より正確に伝え、さらに、次の世代や他の人々が、正しく理解し感性を伝えられる構成が望まれます。その視点で、例えば、折紙の作業を通しての文化活動の伝承を支援するデジタル・アーカイブなどの検討が必要です。(後藤、宋、大木)